

銚子の魅力を
発信するちょよ!



のい♡銚子

第31回

一番の喜びはお客さんの笑顔 向後祐輝さんの巻

店名「Orai de」の由来が聞けてスッキリしたちょよ

「スペインバルだけど実際にはフレンチやイタリアンっぽい料理も出ています。僕がメインに出したいのは、本当は料理じゃなくってお酒。話が盛り上がりれば自分も一緒に飲めるし、楽しいでしょ?」

と愛嬌たっぷりな笑う店主の向後祐輝さん(39歳)。

平成25年10月、銚子初のワインバー「Orai de」を開店。市内にはそれまでコース料理を出すレストランや昔ながらの洋食屋さんがあったが、当時都内で増えていた一皿ずつをつまんでお酒を楽しむスタイルのお店はなかった。店名は銚子弁で「俺んちで」を表す言葉。「一見何語かわからないけど実

は銚子弁。俺んちでくつろいでいてよって気持ちを入れて付けた。銚子で商売をするならまだない業態をやりたいかつたし、こういうスタイルもあるよって提案したかつた」

向後さんがスペインバルを開きたいと考えるようになったのは経歴にも関係がある。

高校卒業までを銚子で過ごし、音楽を志して東京の専門学校へ。卒業後はベーシストとして活躍するかたわらパーテナーの仕事をしていた。勤務先がスペイン料理店を展開すると、スペインのレストランで働いていたこともあるシェフの仕事こそで見るようになり、向後さんも

見よう見まねで料理を作って同僚たちにもふるまったりした。

音楽の仕事辞めた後もパーテナーの仕事は順調だったが、銚子の父が倒れたことがきっかけで銚子に戻ることになった。帰郷当初は市内の飲食店に勤めたが、そのうちに自ら開業したい気持ちが芽生えた。

「どんなお酒を出すかが先で料理はその次。ワインも珍しいものを揃えています。ワイン初心者の方でも気軽に聞いてください。日本酒のビールや果実のビールもあります。僕が一番の喜びはお客さんの笑顔。おいしいお酒とご飯でご機嫌になってもええたら」

週末は予約で埋まってしまってお断りするお客さんも多く、年内に2号店を開店させたいと考えている。音楽は今も続けていてイベントに出演することもある。

「ゆくゆくは演奏を聴きながらお酒を楽しめるような店舗も展開していきたいらいいな」

新情報 / 2号店も楽しみだちょよ



▲赤い屋根がお店の目印だちょよ



Orai de(オライデ)
東芝町8-2 ☎(22)1022
①17時~24時 日曜定休

わんぱく登場



こう
山本 護生ちゃん
H27年7月生まれ



めぐみ
廣澤 恵ちゃん
H27年3月生まれ

住所、氏名、連絡先、お子さんの名前(ふりがな)、生年月日を記入し、写真を郵送またはメールで送付ください。窓口でも受け付けます。
☎ 秘書広報課 ☎(24) 8823 <郵送> 〒288-8601若宮町1-1 <メール> koho@city.choshi.lg.jp

写真
大募集!



人のうごき 平成30年5月1日現在 人口 62,382人(-100人) うち外国人住民人口 2,087人
男 30,121人(-63人) 女 32,261人(-37人) 世帯 27,452世帯(30世帯)※カッホは前月比
平成30年4月中の人口動態 出生 16人 死亡 75人 転入など 190人 転出など 231人

